

2013年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	建築・デザイン学科																																																																																																																																						
科目名	フラックス・デザイン																																																																																																																																						
科目区分	専門科目	単位数	2単位	開講時期	1年次後期																																																																																																																																		
必修・選択の別	選択必修科目(デザインコース) 選択科目(建築工学コース) 選択科目(建築コース)																																																																																																																																						
担当者	嶋崎 浩樹																																																																																																																																						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・専門や特定の領域に固執せず、常に広い視野から俯瞰する必要性を理解する。(A6) ・分野を超えた繋がりの中で、それらのコネクションとネットワークを理解する。(D3) ・身の回りの様々な物事を通して、プロフェッショナルとして身につけるべき教養を養う。(D3) 																																																																																																																																						
日程と内容	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">13/09/20</td> <td style="width: 5%;">第1回</td> <td style="width: 35%;">導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>13/09/27</td> <td>第2回</td> <td>パラダイム考1 創造的活動</td> <td>コンピュータVSヒューマンエラー</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13/10/04</td> <td>第3回</td> <td>パラダイム考2 疑惑</td> <td>様々な視点から</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13/10/11</td> <td>第4回</td> <td>パラダイム考3 異端</td> <td>その重要性から</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13/10/18</td> <td>第5回</td> <td>パラダイム考4 情報</td> <td>ストックからフローへ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13/10/25</td> <td>第6回</td> <td>パラダイム考5 性差と家族像</td> <td>マインドコントロールからの開放</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13/11/01</td> <td>第7回</td> <td>社会とデザイン1 戦争</td> <td>人間の歴史と建築およびデザイン</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13/11/08</td> <td>第8回</td> <td>社会とデザイン2 建築</td> <td>可能性と期待 flux design+architecture</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13/11/15</td> <td>第9回</td> <td>社会とデザイン3 現象</td> <td>現象としてのデザイン</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13/11/22</td> <td>第10回</td> <td>社会とデザイン4 経済</td> <td>世界経済の動きとデザインの間連</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13/12/06</td> <td>第11回</td> <td>フラックス考1 世界市民</td> <td>第一次・第二次産業の危機がもたらすもの</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13/12/13</td> <td>第12回</td> <td>フラックス考2 BS+RPT</td> <td>脳刺激と時間の捉え方</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13/12/20</td> <td>第13回</td> <td>フラックス考3 メディア</td> <td>映画・写真・アニメとTV</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13/12/21</td> <td>第14回</td> <td>フラックス考4 ノイズ</td> <td>線引きから生まれるもの失われるもの</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>14/01/10</td> <td>第15回</td> <td>定期試験</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>14/01/24</td> <td>第16回</td> <td>まとめ</td> <td>まとめ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							13/09/20	第1回	導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法						13/09/27	第2回	パラダイム考1 創造的活動	コンピュータVSヒューマンエラー					13/10/04	第3回	パラダイム考2 疑惑	様々な視点から					13/10/11	第4回	パラダイム考3 異端	その重要性から					13/10/18	第5回	パラダイム考4 情報	ストックからフローへ					13/10/25	第6回	パラダイム考5 性差と家族像	マインドコントロールからの開放					13/11/01	第7回	社会とデザイン1 戦争	人間の歴史と建築およびデザイン					13/11/08	第8回	社会とデザイン2 建築	可能性と期待 flux design+architecture					13/11/15	第9回	社会とデザイン3 現象	現象としてのデザイン					13/11/22	第10回	社会とデザイン4 経済	世界経済の動きとデザインの間連					13/12/06	第11回	フラックス考1 世界市民	第一次・第二次産業の危機がもたらすもの					13/12/13	第12回	フラックス考2 BS+RPT	脳刺激と時間の捉え方					13/12/20	第13回	フラックス考3 メディア	映画・写真・アニメとTV					13/12/21	第14回	フラックス考4 ノイズ	線引きから生まれるもの失われるもの					14/01/10	第15回	定期試験						14/01/24	第16回	まとめ	まとめ				
13/09/20	第1回	導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法																																																																																																																																					
13/09/27	第2回	パラダイム考1 創造的活動	コンピュータVSヒューマンエラー																																																																																																																																				
13/10/04	第3回	パラダイム考2 疑惑	様々な視点から																																																																																																																																				
13/10/11	第4回	パラダイム考3 異端	その重要性から																																																																																																																																				
13/10/18	第5回	パラダイム考4 情報	ストックからフローへ																																																																																																																																				
13/10/25	第6回	パラダイム考5 性差と家族像	マインドコントロールからの開放																																																																																																																																				
13/11/01	第7回	社会とデザイン1 戦争	人間の歴史と建築およびデザイン																																																																																																																																				
13/11/08	第8回	社会とデザイン2 建築	可能性と期待 flux design+architecture																																																																																																																																				
13/11/15	第9回	社会とデザイン3 現象	現象としてのデザイン																																																																																																																																				
13/11/22	第10回	社会とデザイン4 経済	世界経済の動きとデザインの間連																																																																																																																																				
13/12/06	第11回	フラックス考1 世界市民	第一次・第二次産業の危機がもたらすもの																																																																																																																																				
13/12/13	第12回	フラックス考2 BS+RPT	脳刺激と時間の捉え方																																																																																																																																				
13/12/20	第13回	フラックス考3 メディア	映画・写真・アニメとTV																																																																																																																																				
13/12/21	第14回	フラックス考4 ノイズ	線引きから生まれるもの失われるもの																																																																																																																																				
14/01/10	第15回	定期試験																																																																																																																																					
14/01/24	第16回	まとめ	まとめ																																																																																																																																				
成績評価基準	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 35%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">定期試験</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">70%</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">実技</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">0%</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">臨時試験</td> <td style="text-align: center;">0%</td> <td style="text-align: center;">部外評価</td> <td style="text-align: center;">0%</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">報告書・レポート</td> <td style="text-align: center;">30%</td> <td style="text-align: center;">プレゼンテーション</td> <td style="text-align: center;">0%</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">課題</td> <td style="text-align: center;">0%</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">演習</td> <td style="text-align: center;">0%</td> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">100%</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>								定期試験	70%	実技	0%				臨時試験	0%	部外評価	0%				報告書・レポート	30%	プレゼンテーション	0%				課題	0%						演習	0%	計	100%																																																																																															
	定期試験	70%	実技	0%																																																																																																																																			
	臨時試験	0%	部外評価	0%																																																																																																																																			
	報告書・レポート	30%	プレゼンテーション	0%																																																																																																																																			
	課題	0%																																																																																																																																					
	演習	0%	計	100%																																																																																																																																			
授業到達目標の達成度	いずれの到達目標に対してもおおむね達成した。																																																																																																																																						
反省点	取りあげた内容やテーマが少し難しいときもあったので、日常との関連性を意識する。																																																																																																																																						
来年度の計画	日常から様々なデザインに関する興味を深められるように促す。																																																																																																																																						
授業評価アンケートに対するコメント	特に無し																																																																																																																																						
履修登録者数	30名	定期試験 受験者数	23名	合格者数	23名	合格率	100%																																																																																																																																